

図形をひいたり重ねるには、回転させたり、うら返したりする

ひいたり重ねることのできる図形を合同であるといえる

重なり合う	頂点	→	頂点
重なり合う	辺	→	辺
重なり合う	角	→	角

対応する角の大きさ) →
 対応する辺の長さ) →

合同な三角形の書き方

①コンパスで3つの辺の長さをはか、て書く

②分度器とコンパスを使い、2つの辺の長さとその間の角度をはかる。